

CDプレーヤが32万台、前年比8.7%増。カーカラーテレビは4万3,000台、前年比9.3%減と18ヶ月連続のマイナスとなった。カーDVDは2万2,000台、同94.9%増と3ヶ月連続のプラスとなった。カーナビゲーションシステムは32万4,000台、前

年比55.7%増と8ヶ月連続のプラスとなった。ソース別構成比は、CD/DVD-ROMタイプが8%、HDDタイプ56.5%、フラッシュメモリその他が35.5%。ETC車載ユニットは16万1,000台、前年比51.1%減と3ヶ月連続で前年割れとなった。

## 第35回アルミ缶回収協力者74件が表彰 今年度優秀回収拠点には(株)本田荘商店

アルミ缶リサイクル協会は24日、東京・如水会館にて平成21年度(第35回)アルミ缶回収協力者、アルミ缶優秀回収拠点の表彰式を催した。回収協力者は113件の推薦のなかから74件(個人4件、団体70件)が表彰され、感謝状と副賞(5万円)が贈呈された。今年度までに累計で

1,418件が表彰された。また優秀回収拠点には(株)本田荘商店(広島市)が表彰され、感謝状と副賞(10万円)が贈呈された。こちらは今までの累計で45件が表彰されている。また回収協力者の落選者には努力賞として記念品が贈呈された。

### 貴金属

## 2月平均建値は金は93.31円安、銀も6,000円安 金、銀ともに海外相場安を受け

2月の金・銀の山元建値の平均価格が出揃った。金はグラム当たり前月比93.31円安の3,212.37円、銀はキロ当たり前月比6,000円安の4万7,350円となった。

これは金、銀ともに海外相場安をそれぞれ受けた

もの。

年間の建値平均価格の推移は以下の通り。

金(円/グラム) 銀(円/キロ)

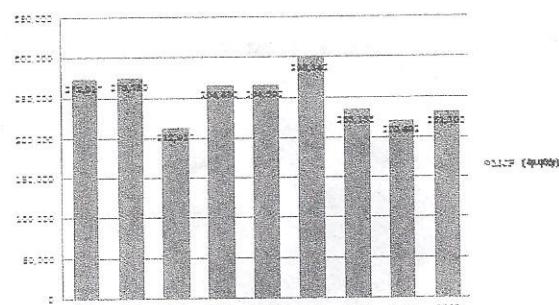
1月	3,305.68	53,350
2月	3,212.37	47,350

## 2010年アルミ原料逼迫の可能性② 橋本健一郎氏講演



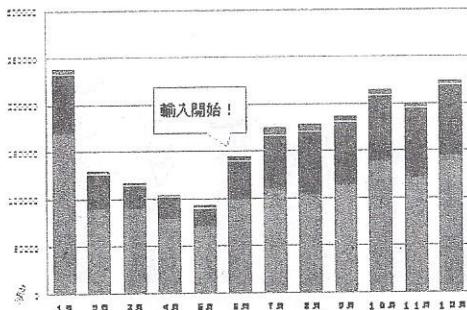
(前回より続き)次に貿易指標を見していくと、08年前半の自動車生産の減少から生産を控え原料を輸出した国内マーケットは後半一転輸入を開始しているが国内在庫はどうなっているのか。まずは新地金からみていくと、統計をはじめた2000年以降20万トンを切ったことがない新地金港湾在庫だが、ついに統計史上初の20万トン割れが起こり、年初在庫から約47%減と大幅減少した。次に製品在庫をみていくと、製品在庫もピークの07年から27%減の2万5600トンと大幅減少している。原料在庫に関してもピークから24%減の5

### 年別アルミ新地金在庫推移

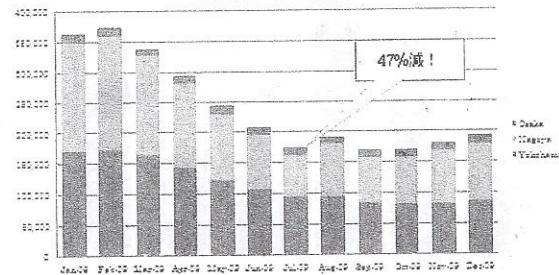


09年7月統計史上初20万t割れ!

### 09年アルミ輸入推移



### 09年アルミ新地金港湾在庫



47%減!

万8900トンと大幅減少している。

では今後のアルミの展望はどうだろうか。ポイントは以下の3つである。

- ①製品のリサイクル原料比率は8割
- ②中国はまだまだ原料不足
- ③代替原料の輸入塊が急騰

09年前半そのほとんどを輸出に出してしまった国内マーケットだが、もう国内に原料需要はないのだろうか。日本製品の原料構成はその約8割をリサイクル原料に依存しており、今後もますます重要になってきている。にも関わらず安易な原料対策のため中国への原料輸出は09年またもや4万トン台へ拡大した。中国の自動車生産台数も09年に米国を抜いて世界一となり10年にはさらに記録を更新し1500万台との予測が成されている。そしてこれからも旺盛な需要を前提とした中国はアルミスクラップの輸入を拡大させていくとの予測も成されており、今までリサイクル原料不足

分を中国産ADCやロシアAK5m2で補ってきた日本だが、世界の工場から世界の市場になつた中国、今まで輸出に向けられていた中国産ADCも国内需要の拡大をうけて年初から50%増と急騰、またロシア産ベースメタル(AK5M2)も現在2000ドルを超えていている。

以上を踏まえ、以下の3点が考えられる。

- ①内需の回復と在庫調整完了からの原料不足
- ②輸入合金塊の高騰による原料不足
- ③中国の需要の拡大による国外流出

よって2010年のアルミスクラップ需要は一転逼迫状態に陥るものと考えられる。

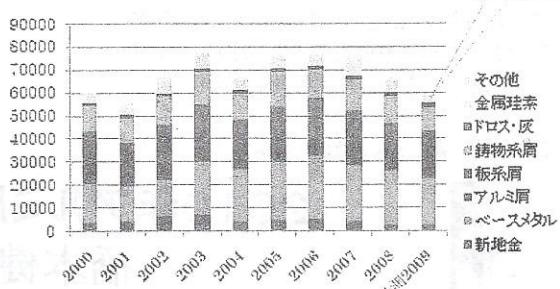
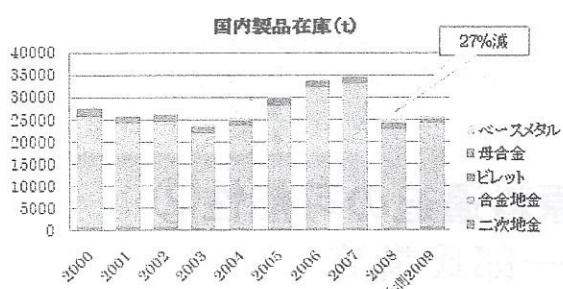
## アルミ・銅 高価買受 柳金属産業(株)

☎072-770-3582  
日刊金属を見たと  
お申しつけ下さい

27%減少！(06年比)

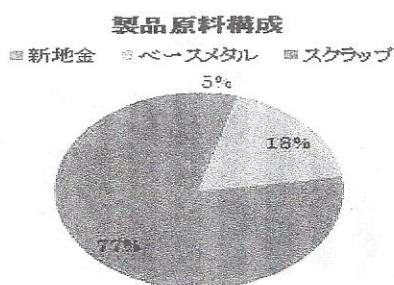
原料在庫

24%減



77%がリサイクル原料！

中国自動車生産台数



中国の日本からの輸入量

